

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 2 回高松市総合計画審議会
日 時	平成 2 7 年 9 月 2 5 日 (金) 1 9 時 2 5 分 ~ 2 0 時 3 5 分
開催場所	高松市役所 1 3 階 大会議室
議 題	(1) 第 6 次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員 (2 0 名)	佃会長、野田副会長、上田委員、上原委員、国見委員、 桑井委員、坂口委員、鈴木委員、高嶋委員、滝川委員、 竹内委員、徳倉委員、中橋委員、西岡委員、花澤委員、 原委員、古川委員、眞鍋委員、柳委員、頼富委員
傍 聴 者	3 人 (定員 1 0 人)
担当課及び連絡先	政策課 839-2135

会議の経過及び結果

(1) 第 6 次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について

委員にまちづくりの目標ごとにグループに分かれてもらい、まちづくりの目標の実現に向けて、政策や施策の方向性について、整合が図られているか、効果的な取組となっているか等、各委員の立場からの意見を出してもらい、グループで整理してもらった。

【グループ 1 まちづくりの目標 1】

- ・子どもと高齢者、障がい者など、それぞれの人たちの力が十分に発揮できるまちづくりを目指す必要がある。
- ・そのためには、地域や居場所、人をコーディネートする人材の育成が大切である。
- ・健康福祉、教育全般を担当する組織づくりが必要である。
- ・さまざまな主体のネットワークづくりが必要である。

【グループ 2 まちづくりの目標 2】

- ・男女共同参画が筆頭にくる理由が明確になれば、目標や政策などが見えてくる。位置づけの理由を分かるようにすべきである。
- ・家庭、地域の教育力の充実が大切であり、子供会の充実に取り組む必要がある。
- ・生涯学習の充実について、女性の就業率の上昇などもあり、リカレント教育、生涯学習の必要性を明確にすべきである。

【グループ 3 まちづくりの目標 3】

- ・自然が近いという高松の魅力を生かす、また、家族で楽しむスポーツの充実を考えると、「レクリエーション」を施策として出す必要がある。

会議の経過及び結果

- ・国際交流について、姉妹都市との交流も大事だが、高松市の国際化を目指す内容にすべきである。
- ・政策「国際・国内交流の推進と定住の促進」の施策として、「国際・国内交流の推進」と「移住・交流の促進」がぶら下がっているが、内容が異なるものであるので、施策に合わせ政策を設けるべきである。
- ・「国際・国内交流の推進」の成果指標に、高松空港の利用者数が良いのではないか。
- ・海外マーケットについての施策を考えるべきである。地元産品を売り込むため、人材教育や人材のマッチングが必要である。ジャパンエクスポでの経験を生かすべきである。
- ・新しいビジネスを生み出す取組が必要である。企業誘致も必要だが、若い人の創業・起業支援や文化・芸術関係のビジネス化、既存の資源を複合的に有効活用することも必要である。

【グループ4 まちづくりの目標4】

- ・救急車の適正利用に向けたPR、啓発、病院との連携が必要である。
- ・市民の安全を守るため、県・市・市民の連携を深めることや、歩車分離など、最近の情勢を反映した交通安全対策を進めるべきである。
- ・犬猫殺処分について、ワーストから脱却する意思が感じられない。
- ・環境について、リユースを進めることで廃棄物の減量や再生エネルギーの推進による循環型社会の形成に努めるべきである。
- ・道路、河川、水道等のインフラについては、県と連携しながら過不足なく整備する必要がある。

【グループ5 まちづくりの目標5】

- ・コンパクトシティを標榜しているが、現実には、郊外の宅地化が進行している。空き家の存在も目立つようになっており、開発の規制、誘導が必要である。
- ・高齢化の進展を見据え、インフラや公共交通機関の駅などが近接したまちづくり、電動車いすの使いやすさなどが必要である。

【グループ6 まちづくりの目標6】

- ・コミュニティ形成について、モデル地域を作り、成功事例とすることで、コミュニティの在り方や必要性、良さを他に浸透させることが必要である。中心となる人材の育成、他での先進事例を参考にすることも必要である。
- ・地域づくりの主役は市民であり、行政は裏方である。市の支援を前提としない取組を進める必要がある。職員が地域とのかかわりを持ち、地域に浸透することで、相互の理解が進む。
- ・コミュニティづくりは小さな成功を積み重ね、地道に進めていくことが必要。
- ・離島の振興をまちづくり目標6に位置付けることは適切だろうか。

会議の経過及び結果

(2) その他

(事務局)

次回(第3回会議)は、10月10日(土)に開催し、今回、検討いただいた内容を事務局で整理して、次回審議会に、答申(案)として、提示したい。

(閉会)